



こんにちは 日本共産党

清水とし子です

発行・日本共産党日野市議会議員 清水とし子

日野市多摩平4-1-1 (清水事務所)

メール jcpsimi@jcom.zaq.ne.jp

Facebook「清水登志子」で検索

携帯 090-6102-7555、事務所 042-582-1042

## 豊田駅・日野駅の安全柵設置、

## 日野駅西口改札の早期開設をJRに要請



(左から岡田氏、清水市議、近澤市議)

12月25日、日本共産党清水とし子市議、近澤美樹市議、岡田じゅん子氏は、JR東日本八王子支社に対し、日野駅・豊田駅の安全柵等（ホームドア）の設置及び、日野駅西口改札の早期開設を求める要請を行いました。

この行動には、日野駅利用者の方々、日本共産党山添拓参議院議員事務所も参加しました。

## 視覚障害者が利用する豊田駅のホームドアは急務

豊田駅は、視覚障害者の施設「光の家」の利用者が使う駅です。特に、仕事を持ち通勤で利用されている視覚障害者の方には、ガイドヘルパーもついていないため、転落の危険が高まります。

また、豊田駅は擁壁や建物に挟まれて昼間でも暗く、健常者でもホームと線路の境

がわかりづらくなっており、ホームドアの設置が急がれます。

JR東日本側は、拝島・町田駅で簡易な安全柵の試行も行っており、一日も早く整備したいと考えており、乗客への注意喚起なども合わせて行っていくと回答しました。

## 日野駅西口改札は、乗降客分散させる安全対策

日野駅のホームは大変狭く、毎年数名の転落事故が起きています。特にラッシュ時には、電車を待つ人がホーム側に固まり、通行する人はホームの端を歩かざるを得ません。

また、改札口が立川方面一か所しかないため、ここに人が集中してしまいます。

西口改札を開設し、乗降客を分散させることは安全対策としても有効です。また、日本共産党が行った駅利用者へのアンケート調査でも、西口改札開設の要望が一番多く出されました。

JR東日本側は、日野市長からも要請を受けており、地元と相談しながら日野駅の最適化を早く進めなければならないと思っていると回答しました。



写真：視覚障害者の方と行った日野駅の実態調査の様子

## JRも、社会的責任に応じた費用負担を

JR東日本は「地元要望によるJR駅の改良費は地元自治体が全額負担」を基本的立場としています。

しかし、日野駅の西口改札開設の場合、乗降客の安全確保という改良の目的や、JRの社会的責任をふまえれば、JRも必要な費用負担をすべきではないでしょうか。

日本共産党の主張に対してJR側は、地元要望による改札口開設については、地元負担が基本であるが、「駅の最適化がどのようなものになるかによっても変わってくる」「全体的な費用負担の中でということはある」との見解を示しました。

今年もお世話になりました

誰もが人間として尊重される

市政めざして、

来年もがんばります

清水とし子

